

2月 さくらんぼだより

社会福祉法人路交館 2月29日(木)
児童発達支援センターわかさ 担当：おーちゃん(大山)

二月になって少しずつ日が長くなり、春を感じる温かい陽気の日も増えてきました。まだまだ寒い日も多く、寒暖差も激しいので、体調管理には気を付けていきましょう。

プチ発表会

文責：おーちゃん(大山)

17日(土)にさくらんぼプチ発表会を行いました。今回は4年ぶりに保護者の方に来ていただく形での発表会を行うことが出来ました。赤グループは絵本の『やさいさん』『くだものさん』にふれあい遊びの『もしもしかめよ』を取り入れた演目を、白グループは絵本の『パッポー』を題材にした演目を行いました。子どもたちはいつもと違う部屋や雰囲気にとドキドキして泣く子もいましたが、発表会が始まるとふれあい遊びをしたり、野菜や果物を取ったり、鈴を鳴らしたりなどそれぞれの演目を楽しんでいる姿を見せてくれました。子どもたちは本番まで楽しんで練習してきましたが当日は普段と違う雰囲気だったので、いつもと違う一面も見せることがあったと思います。一緒にご参加いただいた保護者の方もご協力ありがとうございました。直接見て頂ける機会を作ることができてよかったです。お忙しい中ご参加いただきありがとうございました。



赤グループ

文責：もえちゃん(宮脇)

2月に入ると発表会の劇遊びが本格的にスタートしました。練習の前に子どもたちに「やさいさん」「くだものさん」の絵本の読み聞かせをすると、職員の近くに座り、興味津々に見ていました。子どもたちの中には「ごぼうさん」「さくらんぼさん」と絵本をめくる前に野菜や果物の名前を元気と言う子もいます。リハーサルは本番と同じように、白グループの部屋で行いました。いつもとは違う部屋の雰囲気に戸惑って泣いている子、喜んで走っている子など様々な姿がありましたが、野菜や果物を畑や木から取る際は集まってきて職員、友だちと一緒に取ってカゴに入れて、満足そうな表情を浮かべていました。手遊びも活動の中で行っていくうちに、声を出して一緒にうたったり、手遊びを行ったりと楽しそうにしていました。日々発表会の劇遊びをして、子どもたち自身も少しずつ出来るが増えてきて、より成長を感じました。今年度も残り1ヶ月になりましたが、引き続き子どもたちの成長を見守っていききたいと思います。



白グループ

文責：ここちゃん(濱名)

2月は発表会の練習をたくさん行いました。練習を行っていく中で手を繋ごうとしない子に「て、つなぐよ」と自ら声かけをして手を差し出す姿や、それに応じて手を繋ぐ姿が見られました。最初はお面を付けるのが苦手だった子も周りを見てかぶれるようになってたりと子どもたちの姿も変わっていきました。リハーサルでは赤グループの発表を見て「かめさんかわいい」と言ったり、一緒に歌を歌ったりととても楽しそうに見ていました。また自分たちの番が来るとはりきって取り組んでいました。発表会の題材にした「パッポー」の絵本は元々からみんなのお気に入りの絵本でしたが、ある日「よむ！」と自分から読み聞かせをしたいと言ってくれた子がいました。セリフをすっかり覚えて上手に読み、聞いている子たちも覚えているので一緒に読むなど、とてもにぎやかな絵本の読み聞かせになっていました。子どもたちのどんな姿を見せたいのか、どんなことなら楽しくできるのか試行錯誤して考えた演目でしたが、しっかりやりきってくれて子どもたちの成長をしみじみ感じました。残り少しですが日々を大切に過ごし、楽しい思い出をたくさん作りたいたいと思います。



3月の予定

- ・赤グループ お別れ遠足 11日(月)
- ・白グループ お別れ遠足 15日(金)

詳しくは以前配布した手紙をご確認ください。

- ・食育活動 ホットケーキ作り 14日(木)
- ・避難訓練 18日(月)
- ・5歳児お別れ会 22日(金)

保護者のみなさまへ

・3月11日に赤グループ・15日に白グループそれぞれのお別れ遠足を予定しています。おにぎりの用意をよろしくお願いいたします。
(詳しくは二月中旬にお配りした手紙をご確認ください。)

3月のねらい

赤グループ・・・外遊びや室内遊びなど様々な遊びを思い切り楽しみます
白グループ・・・一緒に過ごしてきた友だちと残りの1か月、色々な活動を楽しみます